

丸の内への通勤者間で平常時から気象・運行情報を共有し、災害時に役立てられる共助システムを構築

投稿型サイト「丸の内“もしも／いつもNavi”」発表会

東日本大震災から3年にあわせた「防災・復興ウィーク」の初日に開催

■日時：2014年3月7日（金）9時～10時（報道受付開始：8時45分）

■会場：^{さんさんらぼ}3x3 Labo（東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル3階 338区）

▶防災・復興ウィーク：2014年3月7日（金）～2014年3月14日（金）

大手町・丸の内・有楽町エリア（^{だいまるゆう}大丸有エリア）の持続可能なまちづくりを推進するエコツェリア協会（一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会）が三菱地所株式会社の委託を受け運営する登録制オープンスペース「3x3 Labo」では、2014年3月7日（金）～14日（金）までの1週間を「防災・復興ウィーク」として、丸の内、そして日本全体の防災システムについて考える場を設けます。

これは東日本大震災から丸3年を迎える3月11日にあわせて実施されるものです。その主軸として、大丸有エリアの就業者向け非常時に備えた通勤情報投稿サイト「丸の内“もしも／いつもNavi”」を3月7日（金）より提供開始します。これは投稿型の予防減災システムで実績のある株式会社ウェザーニューズの協力と、3x3 Labo内環境教育ゾーン「触れる地球ミュージアム」主宰の竹村真一氏のプロデュースによるもので、ウェザーニューズが提供する投稿型サイト「通勤天気」を丸の内通勤者用にカスタマイズして開発されました。日頃から丸の内通勤圏の沿線や駅における気象・運行情報を共有することで、エリア内約23万人の就業者が非常時に役立てられる共助システム構築を目指します。

つきましては、竹村真一氏と森田清輝氏（株式会社ウェザーニューズ取締役）による「丸の内“もしも／いつもNavi”」発表会を、「防災・復興ウィーク」初日の3月7日（金）に開催いたします。

【防災・復興ウィーク】～丸の内“もしも／いつもNavi”発表会概要～

■日時：3月7日（金）9時～10時 ■会場：3x3 Labo（東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル3階 338区）

■主催：エコツェリア協会 ■共催：Earth Literacy Program／株式会社ウェザーニューズ

■協力：一般社団法人大手町・丸の内・有楽町まちづくり協議会

■登壇者：森田清輝氏（株式会社ウェザーニューズ取締役）
竹村真一氏（触れる地球ミュージアム主宰・京都造形芸術大学教授）

■タイムテーブル：8時45分～ 報道受付
9時00分～9時10分 竹村真一氏による防災・復興についての講話
9時10分～10時00分 丸の内“もしも／いつもNavi”の解説及び質疑応答

丸の内“もしも／いつもNavi”概要 URL：http://weathernews.jp/s/gensai_dmu/
 特長：
 ・それぞれの沿線や駅周辺情報を、その周辺にいる人が書き込み互いに参照
 ・非常時に災害情報を地図上で一覧、可視できる
 ・通勤者間で平常時から気象・運行情報を共有し、災害時に役立てられる共助システム



「丸の内“もしも／いつもNavi”」ホーム画面

防災・復興ウィークのトークショー

3月10日（月）地球大学トークショー「3.11から3年ー福島の子どもたちは、いまー」
 ゲスト：中山孔壹氏（統合医療専門家・歯科医師／福島県いわき市在住） 司会：竹村真一氏
 開演：18時（受付開始：17時半） 終演：19時半

3月13日（木）特別トークショー「レジリエントな都市のデザイン」
 ゲスト：大木聖子氏（地震学者・慶應義塾大学SFC准教授）／森田清輝氏（株式会社ウェザーニューズ） 司会：竹村真一氏
 開演：18時（受付開始：17時半） 終演：20時

防災・復興ウィークの展示

3月7日（金）～14日（金）触れる地球ミュージアム「防災・減災展」：地球目線で自然災害を見える化しつつ、3.11後のソーシャルデザインを提案
 3月12日（水）～13日（木）「いわきの“チカラ”届けます。」展：福島県いわき市の魅力を発信している学生団体による展示